



本店所在地：近江八幡市魚屋町

本社所在地：竜王町鏡

代表者：大森 七幸

～ 環境にやさしい印刷 ～



日本社会は今、人口減少や超高齢化社会、貧困や格差社会、気候変動や大災害など先進国の中でも経験したことのない社会問題に直面しております。

これまで企業は、雇用を生み、利益を創出することで、すべてのステークホルダーに存在価値を認められ、社会的存在意義を満たしていました。

しかしこれからは、持続可能な社会を将来につなげるために、企業は本業を通じてESGや国連が採択した開発目標のSDGsへの投資と活動が強く求められていると痛感します。

当社は、経営理念に「時代の求めるコミュニケーション手法を提供することで社会の課題解決に貢献する」と掲げています。

そして、2017年7月1日、持続可能な開発目標達成に向けてアインズSDGs宣言をしました。



▲印刷産業環境優良工場
「経済産業省商務情報政策局長賞」を受賞

コミュニケーション・プラットフォームとして、あらゆるコミュニケーション手法を通じて、社会課題の解決に寄与したい

明治10年、アインズは近江八幡市魚屋町に創業し、帳票印刷やデジタル印刷など、常に一步先の未来を見据え、時代をリードする技術を取り入れてきました。更には、環境負荷低減が可能な印刷手法の導入（水なし印刷など）や環境整備に役立つ寄付金付印刷用紙、卓上カレンダーなどの商品販売を行なってまいりました。しかし、それらは環境保全のひとつの小さな活動に過ぎません。

滋賀で生まれた当社は、琵琶湖の環境を印刷ソリューションで守る取り組みを行っています。環境にやさしい「水なし印刷」は、有害な化学物質を含む^{はいえき}廃液を出さず、水や空気を汚さない自然にやさしい印刷手法です。

また、環境への負担を減らす「引き算の責任」だけでなく、自ら積極的に社会的責任を果たそうとする「足し算の責任」にも数多く取り組んでいます。その一つに、UCD[※](ユニバーサル・コミュニケーション・デザイン)を意識した事業活動を展開しています。市役所や銀行などで記入する色々な申請用紙には、たくさんの記入事項があります。どこに何を書けばいいのかわかりづらいと、書く人にやさしくないだけでなく、書き損じたたくさんの紙が捨てられることになってしまいます。

アインズでは、「見やすさ」「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視し、専門知識を持った有資格者がお客様の情報ツールをコーディネートしています。



※UCDとは、年齢や性別、国籍の違いや障がいの有無に関わらず、すべての人の利用を可能にしたデザインのこと。

